

2024年度 くにたち平和の日 企画

くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話

×

「ふつうの日になったのか 原爆の日」展

市が認定した伝承者が語る“広島・長崎の原爆体験者（市内在住）から受け継いだ体験と平和への思い”を聴いて、毎年夏に開催している「ふつうの日になったのか 原爆の日」展へ“8月6日と8月9日、原爆の日を忘れないための一行のコトバ”を応募しよう！

日時 6月22日(土) 午前10時～12時
(開場：9時45分)

講話 10時～：広島原爆
11時～：長崎原爆

会場 くにたち市民芸術小ホール

参加費 無料

▼申込フォーム

申込方法 電話・メール・WEBフォーム
<https://logoform.jp/f/wToQ6>

くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話は、**体験者本人ではなく、体験者の体験と想いを語り継ぐ「伝承者」による講話**です。

広島原爆



ひらただみち
平田忠道さんの体験
1930年（昭和5年）生／2019年逝去

1945年4月、東京から父親が転勤していた広島へ家族と転居。その4か月後、中学3年生だった平田さんは、広島市北部にある可部町での勤労働員の作業中に被爆。

長崎原爆



かつらしげゆき
桂茂之さんの体験
1930年（昭和5年）生／2017年逝去

当時、長崎中学校3年生だった桂さんは、学校で製造した部品を大八車に乗せて、同級生4人1組で三菱造船所に運ぶ途中、長崎駅付近で被爆。

広島市立基町高等学校の生徒と被爆者との共同制作による「原爆の絵」展 開催！

被爆者の記憶に残る被爆時の光景を同校生徒が聴き取り描いた「原爆の絵」の複製画を展示します。30点以上の複製画と各絵にまつわる解説をご覧ください。また、同日は「8月6日と8月9日、原爆の日を忘れないための一行のコトバ」応募用紙と応募箱を設置します。伝承者講話や「原爆の絵」から感じた原爆・平和への思いをコトバにしませんか。



日時：6月22日(土) 9時30分～16時終了

場所：くにたち市民芸術小ホール ギャラリー

※申込・参加費不要

くにたち市民芸術小ホール

■JR中央線 国立駅南口より 【バス】

4番乗り場（立川バス）約10分

〔国11/矢川駅〕行き、〔国10/国10-2/国立操車場〕行き、〔国41/国立泉団地〕行き
「市民芸術小ホール・総合体育館前」下車すぐ ※〔国12/谷保駅〕行きは止まりません

たましん前の乗り場（国立市コミュニティワゴン「くにっこ」）約20分

⑧「国立市役所」下車 徒歩1分

■JR南武線 矢川駅より 【バス】

北口：スーパーいなげや（ina21）側 乗り場（立川バス）約2分

〔国11/国立駅〕行き、〔国10/国10-2/国立駅〕行き、〔国41/国立駅〕行き
「市民芸術小ホール・総合体育館前」下車すぐ ※音高経由国立駅行きは止まりません

北口ロータリー（ファミリーマート前）の乗り場（国立市コミュニティワゴン「あおやぎっこ」）約2分

⑩「芸小・体育館」下車 徒歩1分

■車でお越しの方

国立市役所駐車場（コイバ・キング：三井のリパーク）をご利用いただけます。
※本イベントに参加する方は無料。駐車券をイベント係員にお渡しください。
※駐車台数が限られています。ご注意ください。

TEL: 042-574-1515

開館時間 9時～22時

休館日 第2・第4木曜日

住所: 国立市富士見台2-48-1



JR南武線 矢川駅または谷保駅
【徒歩】約10分

【問い合わせ先】 国立市 政策経営部 市長室 平和・人権・ダイバーシティ推進係

電話：042-576-2111（内線229・256）／ファクス：042-576-0264

メール：sec_diversity@city.kunitachi.lg.jp



国立市公式サイト